

助教

中島 紀江

## ■ 学歴

---

1. 2021年3月 九州大学大学院医学系学府保健学専攻看護学分野 修士課程修了

## ■ 学位

---

1. 2021年 看護学修士

## ■ 研究分野

---

1. 基礎看護学

## ■ 研究キーワード

---

1. 成人女性 下肢のむくみ 月経周期

## ■ 研究課題

---

1. 下肢のむくみは女性に多い愁訴である。下肢のむくみの予防や対処行動の生活指導を行う上での有効な基礎資料を得ることを目的に、健康成人女性の下肢のむくみの発生の現状とその発生と月経周期の関連について、下肢のむくみを自覚する成人女性の日常生活や月経周期の背景を年代別に明確にするために質問紙調査を行う。また、下肢のむくみと月経周期の関連を形態的、生理学的に評価し、加齢に伴い変動する女性ホルモン(プロゲステロン、エストロゲン)との関連をホルモンの安定期(20、30歳代)と減少期(40～50歳代)において明確にする。

## ■ 担当授業科目

---

1. 看護技術論演習(前期・看護学科)必修
2. 看護過程論(前期・看護学科)必修
3. 診療関連技術論演習(前期・看護学科)必修
4. ヘルスアセスメント演習(後期・看護学科)必修
5. 生活援助技術論演習(後期・看護学科)必修
6. 基礎看護学実習Ⅰ(後期・看護学科)
7. 基礎看護学実習Ⅱ(前期・看護学科)

## ■ 授業を行う上で工夫した事項

---

※ 助教・助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項

- |    |  |
|----|--|
| 1. | <b>授業科目名【看護技術論演習】</b><br>演習の際に、デモンストレーションの実施、担当グループの指導を行った。初めて看護学を学ぶ1年生が対象であるため、わかりやすい言葉、理解しやすい内容となるよう、意識して指導を行った。ベッドメイキングの自主練習の時間は、個別に対応して、学生が根拠を理解し、技術の習得ができるよう支援した。 |
|----|--|

2.	<p><b>授業科目名【看護過程論】</b></p> <p>2つのグループを担当し、学生のグループワークが効果的に展開できるよう支援を行った。看護過程は、これまで各科目で学修した内容をつながげながら自分で思考を整理して根拠をもって看護の対象者に看護を実践する過程を学ぶため、学生は苦手意識や困難感を生じやすい。学生が、なるべくスムーズに思考の整理ができるよう、図を用いて説明したり、活用しやすい参考書などを紹介した。教員からのフィードバックは、グループ単位だけでなく個別指導も行い、グループ全員の理解が統一して進むように支援した。</p>
3.	<p><b>授業科目名【診療関連技術論演習】</b></p> <p>演習の際に、デモンストレーションの実施、担当グループの指導を行った。各演習において、グループ内でリーダーの役割を担当する学生が、効果的にリーダーシップを発揮し、また、他の学生が協力してグループ演習を進行できるようサポートを行った。臨床で経験した知識を活用しながら、学生が根拠を理解して、安全に看護技術を習得、実践できるよう支援した。リーダーを担当する学生の自主練習の時間は、個別に対応して、学生が困っていることが解決できるよう支援した。</p>
4.	<p><b>授業科目名【ヘルスアセスメント演習】</b></p> <p>演習の際に、デモンストレーションの実施、担当グループの指導を行った。バイタルサイン測定技術や器官系統別のフィジカルアセスメント技術の習得と、測定や観察から得た情報で、看護者としてどのようにアセスメントするのか、学生がなるべくスムーズに理解できるよう、臨床での経験を活用し、工夫して説明を行った。技術練習の習得のための自主練習の時間では、個別に対応して、技術の習得をサポートした。</p>
5.	<p><b>授業科目名【生活援助技術論演習】</b></p> <p>演習の際に、デモンストレーションの実施、担当グループの指導を行った。【清拭】、【陰部洗浄】の演習は、担当者として演習計画を立案し、演習内容の検討、進行を行った。デモンストレーションでは、学生が理解しやすい状況設定、カメラワークなどを考え、進行では、学生の理解度や反応、演習の進行状況をみて、意見交換、質問対応、学生による発表などを行い、学生が積極的に演習に参加できるように工夫した。</p>
6.	<p><b>授業科目名【基礎看護学実習Ⅰ】</b></p> <p>学生（1年生）は、初めて担当患者を受け持ち、実習を行うため、患者とのコミュニケーションや関係構築が円滑となるよう調整を行った。また、患者だけでなく、実習指導者に報告連絡相談が行えるように調整を行った。学生の強みや個性を把握するために、実習中の学生の言動や行動、患者さんとの関り方など、細やかに観察し、学生の思いや考えなどを丁寧に聞き、密に関わった。</p>
7.	<p><b>授業科目名【基礎看護学実習Ⅱ】</b></p> <p>学生（2年生）は、患者さんを受け持ち、看護過程を展開する。看護過程の展開の指導だけでなく、わからないことや困っていることが解決できるように、学生と一対一で関わり対応した。実習中の学生の言動や行動、患者さんとの関り方など、細やかに観察し、学生の思いや考えなどを丁寧に聞き、密に関わることで、学生の強みや個性を把握することに努め、効果的な指導、学生の理解につながるよう意識した。</p>

## ■ 学会における活動

	加入時期	所属学会等の名称	役職名等（任期）
1.	2021年3月～現在に至る	日本環境学会	
2.	2021年5月～現在に至る	人間一生活環境系学会	
3.	2021年11月～現在に至る	日本女性心身医学会	
4.	2021年12月～現在に至る	日本看護研究学会	
5.	2023年6月～現在に至る	日本看護科学学会	

## ■ 研究業績等に関する事項（2023年度）

	発行又は 発表の年月	著書、学術論 文等の名称	単著・ 共著の別	発行所、発表雑 誌等又は発表学 会等の名称	概 要
(学会発表)					
1.	2023.12	女子大学生 の日常生活 における下 肢のむくみ の発生状況 とその個人 背景の関連	共	第43回日本看 護科学学会学 術集会 (於 海峡メッセ 下関)	①女性の下肢のむくみの基礎資料を得るために、女子大学生の下肢のむくみの自覚と個人の日常生活や月経周期との関連について明らかにした。 ②共同発表者名：橋口 暢子（九州大学） ③ 第43回日本看護科学学会学術集会抄録 PDF,p204

## ■ 外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）

(1) 共同研究				
	研究題目	交付団体	研究者 ○代表者（）内は学外 者	交付決定額 (単位：円)
1.	成人女性のライフサイクルにおける下肢のむくみと月経周期の関連	科学研究費補助金・ 基盤研究(C) 2022- 2025	○中島紀江 (橋口暢子)	3,640,000

## ■ 社会における活動

	任 期 期 間 等	団体・委員会等の名称 (内 容)	役 職 名 等
1.			

## ■ 学内における活動等（役職、委員、学生支援など）

	任 期	会議・委員会等の名称	役 職 名 等

	期 間 等	(内 容)	
1.	2023年4月～2024年3月	1年生アドバイザー	
2.	2023年4月～2024年3月	研究推進委員	